

コラム③：ナスミバエの防除対策について

ナスミバエは平成22年に沖縄本島への侵入が確認されたミバエ類の一種（図1）で、幼虫が主にナスやトマト、ピーマンなどのナス科作物の果実を食害します（図2）。沖縄本島、阿嘉島、渡名喜島及び粟国島で確認されており、無農薬栽培の露地ほ場や家庭菜園、庭で栽培されているピーマンやシシトウ、シマトウガラシで特に被害が目立ちます（図3）。本年も6月以降、本種による寄生果実が増える傾向にあります。ナスミバエの被害軽減とまん延防止のため下記の防除対策に努めてください。

1 防除上注意すべき事項

- (1) 施設栽培では防虫ネットや出入り口の二重カーテン等により、また露地栽培では防虫ネットの被覆や果実の袋掛け等により、ナスミバエの侵入や寄生を防ぐ。
- (2) 寄生の疑いのある果実（図3）や果実残さはビニール袋に入れ、一ヶ月程度密閉して適切に廃棄処分する。
- (3) 施設やほ場内・周辺にあるテリミノイヌホオズキ（図4）や野良トマト等の野生寄主植物を除去する。
- (4) 収穫や出荷の際の選別作業は入念に行い、寄生の疑いのある果実は除去し、適切に処分する。



図1 ナスミバエ成虫



図2 シマトウガラシの果実を食害する幼虫



図3 寄生され、変色したシマトウガラシの果実



図4 テリミノイヌホオズキ

※ 発生が確認されている沖縄本島、阿嘉島、渡名喜島、粟国島から、未発生地域の宮古・八重山地域や本土へシマトウガラシなどの（辛味）トウガラシの生果実を移動しないようご協力をお願いいたします。ご不明な点があれば下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 沖縄県病害虫防除技術センター特殊害虫班 TEL : 886-3880
沖縄県農林水産部営農支援課 TEL : 866-2280